土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　可部八丁目21地区　外　急傾斜地崩壊対策事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 掘削・掘削のり面

ボーリング名	BO-3	**調査位置**	広島県広島市安佐北区大林町			**北緯**	34° 34′ 15.7822″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2022年 4月 7日 ～ 2022年 4月 8日	**東経**	132° 33′ 46.3278″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 149.60m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	4.00m	**使用機種**		**試錐機**	東邦地下工機　D-0B		
エンジン	ヤンマー　NFAD8	**ポンプ**	東邦地下工機　BG-3B				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
	149.10	0.50		縫混じり砂質土		茶灰			崩積土 φ=40mmまでの礫を含む砂。 表層20cmは葉を混入する腐葉土。																4/7
1				花崗岩		褐灰			軟岩II（CM級主体） CM級を主体とし、一部CH級を挟む。 コアは短柱状～柱状コアとして採取される。 深度2.4～2.8m間、CH級 深度1.2m～1.3mの間、変質し岩片状である。 深度1.45m～1.55mの間、傾斜60°の割れ目が入り、割れ目周辺は粘土化している。 3.2m～3.5mの間、傾斜60°の割れ目が入り、割れ目周辺は粘土化している。 3.6m～3.7mの間、変質し指圧で礫状に崩れる。																
2																									
3																									
4	145.60	4.00																							4/8
5																									
6																									
7																									
8																									
9																									